

## 研究情報公開資料(オプトアウト用)

この公開情報をご覧になって、

- 1.ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
- 2.研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
- 3.ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR23009
1 研究課題名	人間ドックにおける DXA による骨密度測定で要治療判定となった者の受療率に影響を及ぼす要因の検討
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 健診センター 保健師 越智周子 研究分担者 同センター 保健師 沼田瑞枝 同センター 医師 宮武佳子 宮内瑞穂 安田聖栄 診療部 泌尿器科 医師 阿南剛
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始:院長許可後 ~ 終了: 2024年 1月 31日 情報等調査期間 開始:2016年 10月 1日 ~ 終了:2024年 1月 31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	【背景】骨粗鬆症による骨折は要介護要因の一つであり、介護予防の観点からも骨粗鬆症の発見と治療が重要視されていますが、骨粗鬆症有病者の治療率の低さが指摘されています。当センターの人間ドックでは2016年10月からDXAによる大腿骨近位部の骨密度測定を開始しましたが、要治療判定になった受診者の受療率は経年的に低下傾向にあります。 【目的】要治療判定者の受療率に影響を及ぼす要因を明らかにし、受療率や骨粗鬆症の治療率向上のために有効な取り組みを検討します。 【方法】対象者からD判定(要治療)の者を抽出し、紹介状の返信、または次回のドック受診時に受療を確認できたものを受療あり(あり群)、それ以外を受療なし(なし群)として、両群の特徴(性別、年齢、体重、YAM値、過去の骨粗鬆症受療歴、受診勧奨歴など)を調べて、受療に影響する因子を検討します。
5 研究の対象 となる方	対象は2016年10月から2022年3月までの間に当院の人間ドックで骨密度検査を受けた者のうちデータ使用の同意を得られたもの。
6 <u>試料・情報等の 利用目的、利用方法</u>	7を用いて、受療率低下の要因を分析します。
7 <u>研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)</u>	骨密度(YAM値)、骨密度判定、年齢、性別、体重、受療状況、電子カルテ上の受診情報を利用します。
8 <u>試料・情報を利用 する者の範囲</u>	上記2と同じ範囲の者
9 <u>試料・情報の 管理責任者</u>	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります

11	その他の開示すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12	お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 四谷メディカルキューブ 健診センター 越智周子 〒102-0084 東京都千代田区二番町 7-7 電話 03-3261-0401 FAX03-3261-0417

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。